

「平成24年度施政方針、
平成24年度予算」

6月9日(土)
午後1時30分～3時15分
西部コミセン
参加者17人

Q 住居表示での丁目は、順序が分かりにくい。ガラスびん回収のドラム缶は、高齢の役員にはしんどい。会議は自治会など夜が多いが考えてほしい

A 丁目のつけ方は東からで、区切りは大きな道路や河川。空き瓶のドラム缶が重いと聞いており、様子を見て検討したい。役員は高齢者だけでなく、現役世代が多い自治会もあり、タウンミーティングなどは都合のいい時間を伺って決めている

Q 自治会の大小があるが、小さい自治会は役員になる回数が多く大変。合併などできないか

A 自治会の構成に関しては住民の意思なので、自治会同士で話しあっていたら可能だと思ふ。そうした時には行政はアドバイスや支援などをさせていたたく

Q 転入者が自治会に加入しない場合はどのように指導しているのか

A 転入時に渡す町の広報に自治会への加入を勧めるチラシをつけ

A 名称にしても住居表示をするときには、関係する自治会が集まり区域、名称について相談している。住居表示は住民の同意がないとできないし、議会の議決も必要になるので行政が一方的にはできない。救急車など緊急時にも住居表示が実施された地番を伝えればすぐに行ける

Q 組織改正については、全国的に見ても当然の話。反対の議員は住民の声を聞いたのか、一度行政が住民に尋ねてみたらどうか

A 行政を進めていく上で組織改正をしないと播磨町は取り残されるのではないかと思ふ。改正に伴う費用はかかるが、今すべきことだと思ふ。コミバスについても議

会に否決された。しかしその後のタウンミーティングではコミバスの要望を聞かなかつたことはない。今年の3月にも寄附金の使途を議

会で否決され、寄附者の意思を反映したものができなく複雑な心境

Q 高齢化が進み車も乗れない人が増えている。加古川に行くのが遠く感じる。町内にバスがあればよかつたのと思う

A 高齢化が進んでいて住民の足が必要。かこバスとたこバスを乗り入れの研究もしてもらった。住民の足は必要なので引き続き検討したい

ている。現在約2割が自治会に入っていない。住民グループの窓口ではこの自治会に属するか説明するが、強制はできない。自治会は任意の組織であり、最終的には個人の判断になる

Q 役場はなぜ今のグループ制になったのか

A グループ制は平成17年10月に実施、当時のメンバーが変わっているのでもよわからぬが、不都合があれば修正をしていくということだった。グループや統括という役割は他になく、他所では毎回説明しなければならぬので役職名をわかりやすくしたい。子育て支援も複雑化しており、「こども課」を設置し、そこで情報が得られ、手続きができるようにしワンストップサービスを目指したい。また、文化・スポーツは、現在教育委員会の所管にあるが、「ちいき振興課」を設置し、町長部局に移管して教育委員会と連携し、これからのまちづくりに反映したいと考えている

Q 住居表示は何年後に完成するのか

A 住居表示の未実施地区は古宮、二子、土山駅北側だけ。住民の同意が必要である。大きな道路などで区切っているのが、古宮に関しては浜幹線があと数年で完成するので、その後実施していきたい

Q 道路の溝は埋められないのか。道路も広くなるし鉄板で危険な目に遭うこともなくなる

A 水路や道路側溝については維持管理のため蓋はしないでください。雨が降ったときに側溝があふれることがあるが、その原因は降水量でなくゴミ袋や発泡スチロール。通学路などは安全性の面から蓋をしたりしている。個別に場所を聞いて判断したい

Q 入札で小さい業者が入れるような工事がいい。播磨町の工事は播磨町の業者にすべきでは

A 要綱によって定めており、業者は入札審査会で1件ずつ審査しており、小さいものは町内だけに限定している。大きな工事は大きな業者になるが、7、8割は町内業者でしている。町内の業者が2、3社しかなければ町外からも募集する。今年は、町内業者による住宅リフォームを助成する制度も設けている

Q 大きな会社に頼むとしても共同(ジョイント)するなどしてほしい

A 責任の所在が不明確であり仕事の分担がしにくい。共同(ジョイント)は考えていない

Q 責任の所在が不明確であり仕事の分担がしにくい。共同(ジョイント)は考えていない

▶問合せ
企画グループ
☎079 (435) 0356

町長・幹部職員が地域に出向き、町の将来像である「まちが いきいき きらめくはりま」の実現に向けて、まちづくりに関する意見、要望などを直接住民の方から聞き、今後の町政に反映させることを目的に開催するものです。



東部コミセン
テーマ

「平成24年度施政方針、
平成24年度予算」

6月9日(土)
午後7時～8時30分
東部コミセン
参加者15人

Q 二子北公園の近くの古宮都市下水工事の予定は

A 工事を渇水時期にするので秋以降になる。今年度は昨年度の続きから100メートルの予定

Q 通学路の安全管理で高砂市や明石市は警察が通学路を監視しているように、播磨町の取り組みは

A 各学校園に通学路の点検を指示し危険箇所を把握している。播磨南小学校長、播磨南中学校長、PTA会長、自治会長から連名で要望書をいただいたので関係グル

ープと協議し、現在加古川警察署の回答を待っている状況

Q 教育委員会に方向性を聞きたい。シニアクラブで立ち番しているがきびしい状況

A 教育委員会で対応できることとできないことがある。スクールゾーンとし、速度規制等をするためには住民の同意が必要などの規制条件があり、それをクリアしないといけない

Q 警察に立ち会ってもらうなど、町の具体的な対策は

A 要望書は最近提出されてお

り、回答はもう少し先になる。規制は警察でなく公安委員会がする

Q 津波避難ビルの指定はまとまったのか。住民に公表しているのか

A マンションなどに声をかけた

が、総会で住民の合意があるため時間がかかっている。本荘のマンションは現在交渉中で1棟は承諾、2棟は総会を待っている。播磨、西、南小学校と南中学校には

標識や校内に入るための工具の設置などを。標識などができた段階で公表し呼びかけていきたい

Q 住居表示の件だが、残っているところを実施してほしい

A 残っているのは、二子、古宮、土山駅北側。緊急時などにも便利

だできれば早く実施したい。古宮は浜幹線事業が終了したら実施したい。土山駅前にはまちづくり協議会があるが思うように進んで

いない。古宮地区実施と同時期に二子地区の方々にもう一度考えてもらいたい。住居表示はあくまでも住民の意思を尊重している。行政が一方的にすることはない

Q 二子地区は複数の自治会が関係している。明姫幹線の南から土山新島線の東、山電までの間を5丁目までに分けて実施したい

Q JR土山駅前の自転車置き場に天井をつけてほしい

A そのような要望はあるが構造上大きな投資を必要とするので、現時点ではそこまでするといった段階には至っていない

Q 北池広場は避難所となっているが、今日でも水たまりになっている箇所がある。排水がよくなる工夫をしてほしい

A 現状を把握し可能かどうか検討する

Q 浜幹線道路新設事業に3億9千980万円とあるが、どこからどこまでか

A 今年度工事するのは、中学校の近くの古宮土山線からレイクタウンができた田中道までの150×160。道路新設事業は4分の1が工事費、4分の3が用地費などになる。土地開発公社が先行買収しているものを国からの補助金を受け、町が買い取る形になる。平成26年度までに終わりたいが、震災の影響があるので国の補助の動向

行政懇談会

コミセン単位で、5～6月に各コミセンで開催しました行政懇談会のうち西部コミセンと東部コミセンの様子をお伝えます。

が心配

Q 災害時用に災害弱者の名簿を渡してくれるのは6月中と聞いたが具体的な日程は

A 自主防災会と調整会議をするため、福祉グループと危機管理グループで検討している。公表できるのは同意をいただいた人になる

Q 明姫幹線の歩道橋の話だが、穴が開いてさびているのにペンキの塗り替えもない。県の管轄らしいが町から県の担当部局に確認してもらいたい

A ここ2年連続で伝えているが検討中とのこと。8月に県と協議する機会があるので再度確認する

Q 浜幹線の工事に伴い新しい水路ができると思うが、それにより南北の水路に影響が及ぶため配慮してほしい

A 大きな雨水は下水道グループが管轄している。対策を十分に考えておくよう担当に伝えておく

Q 災害弱者の避難所となる福祉避難所はどこにあるのか。24時間介護が必要な障がい者や高齢者はどこに避難すればいいのか

A 各自治会の自主防災会の行動計画の中で、弱者を救助する役割分担などを決めるために名簿を渡す予定。町内に福祉避難所はないので、とりあえず最初は避難所となつている小学校などに避難して